

# 研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学歯科病院での経鼻挿管における術後嘔声の発生率と発生要因の検討

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月から2025年12月までに昭和大学歯科病院で経鼻挿管による全身麻酔を施行した患者さん

## 2. 研究目的・方法

目的：近年、全身麻酔中に使用する挿管器具が多く開発され、安全に気管挿管ができるようになりました。しかし、気管挿管後の合併症の1つである「声のかすれ」、すなわち嘔声<sup>させい</sup>がしばしば認められます。嘔声は、思うように発声できないので苦痛を伴うことも多く、手術後の患者様の生活に影響を及ぼします。そのため、嘔声の発生を予防するために、嘔声を引き起こす原因について調べる必要があります。今までに、経口挿管をした後の嘔声について調べている研究はありますが、経鼻挿管をした後の嘔声について調べている研究はほとんどありません。そこで本研究では、昭和大学歯科病院で経鼻挿管による全身麻酔を行った患者さんを対象として、経鼻挿管をした後の嘔声が発生する頻度と、嘔声を引き起こす原因を解析して、経口挿管をした後の結果と比較することとしました。

方法：診療記録から、術後の回診で嘔声と判断された患者さんを検索して、嘔声の発生率や経口挿管時との比較検討、患者背景(性別、年齢、身長、体重、BMI、ASA術前全身状態分類)および手術時間と麻酔時間などを解析して、ロジスティック回帰分析やニューラルネットワーク(AI解析)による多変量解析を用いてリスク因子を同定します。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術中・手術後の麻酔診療記録より以下の情報を収集いたします。

患者背景(性別、年齢、身長、体重、BMI、ASA術前全身状態分類)および手術時間と麻酔時間

**5．外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**6．研究組織**

研究責任者      研究機関名：昭和大学歯科病院      氏名：梶原里紗

**7．お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯科病院 歯科麻酔科      氏名：梶原里紗

住所：〒145-8515 東京都大田区北千束 2 - 1 - 1      電話番号：070-6406-1747